



自然と生き物の色々な話



～生物多様性とは?～

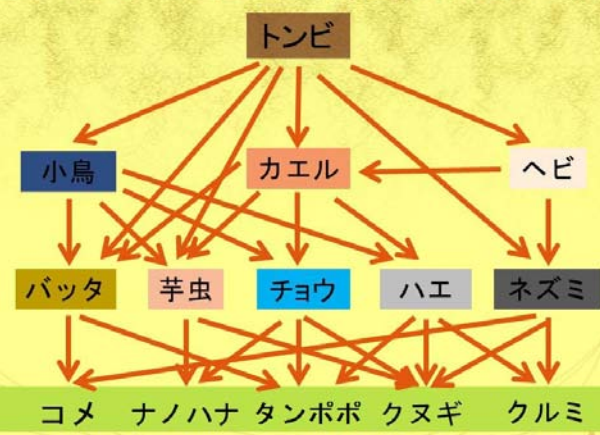
皆さんこんにちは。皆さんは生物多様性という言葉を知ったことはありますか？

今回は生物多様性について入門編の簡単なお話をします。

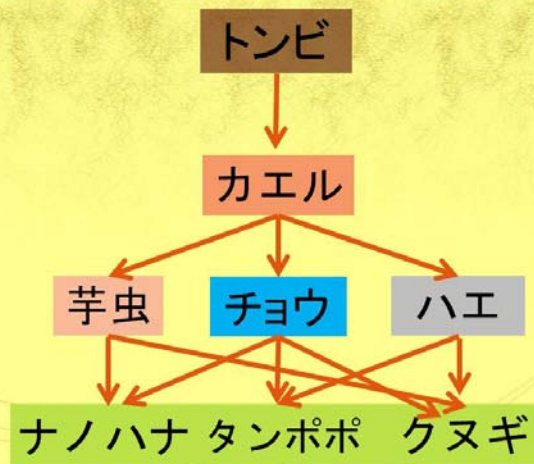
生物多様性を簡単に言うと「生き物同士の関係(生態系)が何種類もあること、生き物の種類が何種類もあること、体の構造や機能を決める遺伝子が何種類もあること」になります。

生き物は生き物同士で食べたり食べられたり、住み処を奪ったり奪われたりと網目のような複雑な関係を持っています。これを「生態系」といいます。

食べる食べられる関係(種類数が多い例)



食べる食べられる関係(種類数が少ない例)



上の二つの図は生態系の中の生き物同士の食べる食べられるの関係をとても簡単な図にしたものです。左の図だとトンビを13種類の生き物で支えています、右の図だと7種類の生き物で支えています。

例えば病気がはやって、カエルが全滅してしまったらトンビはどうなるでしょうか？左の図のトンビは小鳥やヘビを食べて生きていけるかもしれませんが、右の図のトンビは食べるものがなくて死んでしまうでしょう。このように生き物の種類が少ないと1種類の生き物がいなくなっただけでいろいろな種類の生き物に大きな影響が出てきます。他にも病気に強い遺伝子をもったカエルがいれば病気がはやっても全滅しなかったかもしれません。トンビが死んでしまうと右の図の生き物の関係性は崩れてしまいます。

このように生き物を全滅させたり、生態系のバランスを崩したりする理由は病気以外にも、環境が変わること、外来種が在来種を食べ尽くすこと、人間が無計画に生き物を狩ることとさまざまです。実際は図のように単純ではなくもっと複雑なため、1種類や2種類程度全滅しても、大きな影響が出ないことが多いですが、もっと何種類も全滅するとバランスが大きくくずれてしまいます。

人間は生き物から酸素や食料、薬などいろいろな物を受け取って生活しています。生態系が崩れると、それらを受け取れなくなります。そうすると人間が困ります。そのため生物多様性を守っていかなくてはなりません。この生物多様性を守ろうと、県や市町村が地域ごとに生物多様性を守ろうと計画を立てています。兵庫県だと神戸市、西宮市、豊岡市、明石市等ですね。

皆さんの身近な地域でも生物多様性を守るためのイベントが行われているはずですので、ぜひ参加してみてください。